

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 08-301723

(43)Date of publication of application : 19.11.1996

(51)Int.Cl.

A61K 7/00

A61K 7/02

A61K 7/48

(21)Application number : 07-149364

(71)Applicant : YUKIMITSU KEIICHIROU

(22)Date of filing : 11.05.1995

(72)Inventor : YUKIMITSU KEIICHIROU

(54) MOISTURE-RETAINING COSMETIC

(57)Abstract:

PURPOSE: To sustain effects of waters, alcohols, esters, amino acids, oils and moisture-retaining materials, etc., without changing shape of a substance constituting other cosmetic substrates.

CONSTITUTION: This cosmetic is obtained by encapsulizing waters, alcohols, esters, amino acids, oils and moisture-retaining material, etc., with an inorganic substance or carrying these materials on a substance capable of slowly releasing an inorganic substance and mixing 20-99 pts.wt. of the encapsulized materials or carried materials with a bathing cosmetic substrate. The cosmetic can retain effects of waters, alcohols, esters, amino acids, oils and moisture-retaining materials, etc., without affecting influence on other mixture.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner s decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner s decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner s decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner s decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-301723

(43) 公開日 平成8年(1996)11月19日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
A 6 1 K	7/00		A 6 1 K 7/00	T
	7/02		7/02	C
	7/48		7/48	

審査請求 未請求 請求項の数2 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号	特願平7-149364	(71) 出願人	594115795 幸光 敬一郎 大阪府枚方市東山1丁目47-1-106
(22) 出願日	平成7年(1995)5月11日	(72) 発明者	幸光 敬一郎 大阪府枚方市東山1丁目47-1-106

(54) 【発明の名称】 保湿性化粧料

(57) 【要約】

【目的】 液状の水類、アルコール類、エステル類、アミノ酸類、オイル類及び保湿性材料等を粉末化し、他の化粧料基材を構成する物質の形態を変える事なく、又水類、アルコール類、エステル類、アミノ酸類、オイル類及び保湿性材料等の効用を持続させることを目的とする。

【構成】 水類、アルコール類、エステル類、アミノ酸類、オイル類及び保湿性材料等は無機質でカプセル化し、又は無機質徐放性物質に担持させ入浴化粧料基材に20～99部混合したことを特徴とする化粧料で、他の混合物に影響を与えることなく水類、アルコール類、エステル類、アミノ酸類、オイル類及び保湿性材料等の効用を保持することができる。

【特許請求の範囲】

【請求項1】 無機質のカプセルに内包した水類、アルコール類、エステル類、アミノ酸類、オイル類及び保湿製材料の一種又は複数種を化粧料基材に混合したことを特徴とする化粧料。

【請求項2】 無機質徐放性物質に水類、アルコール類、エステル類、アミノ酸類、オイル類及び保湿製材料の一種又は複数種を担持させたものを化粧料基材に混合したことを特徴とする化粧料。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は保湿性化粧料に関する。

【0002】

【従来の技術】 水類、アルコール類、エステル類、アミノ酸類、オイル類及び保湿性材料等は、古くより人体の皮膚に潤い、しっとり感を与え、熱さを押さえ、汗をとり、皮膚の発熱を減少させると同時に美容と健康を目的としていたと思われる。しかしこれらは液状で使用されており、皮膚面への塗布量は限られており、そのため、揮発分の気化時間は短く、その作用も限られていた。

【0003】

【本発明が解決しようとする課題】 本発明は、液状の水類、アルコール類、エステル類、アミノ酸類、オイル類及び保湿性材料等を粉末化し、化粧料として使用するまで、粧料基材を構成する物質の形態を変える事なく、又水類、アルコール類、エステル類、アミノ酸類、オイル類及び保湿性材料等の効用を持続させることを目的とする。即ち、液状の水類、アルコール類、エステル類、アミノ酸類、オイル類及び保湿性材料等をそのまま他の粉末状の化粧料基材と混合すると、全体が液状、泥状又は塊状になり、更に化学的変質を起こす可能性がある事から、水類、アルコール類、エステル類、アミノ酸類、オイル類及び保湿性材料等を粉末状にし、安定した状態にしてから化粧料基材と混合し、化粧料を製造しようとするものである。

【0004】

	* NO. 1 NO. 2 NO. 3		
AQUAGRAN入りカプセル	50部	70部	90部
セリサイト	40部	20部	-
着色原料ペースト	9.5部	9.5部	9.5部
香料	0.5部	0.5部	0.5部
合 計	100部	100部	100部

【0009】

【実施例2】 シリカ（粒径0.1 μ m～30 μ m、吸油量300ml/100gr）45部、地下水（AQUAGRAN）50部とヒアルロン酸ナトリウム5部を混合

*【課題を解決するための手段】 本発明は液状の水類、アルコール類、エステル類、アミノ酸類、オイル類及び保湿性材料等を無機質のカプセルに内包させ、又は無機質徐放性物質に担持させて粉末状にする。この粉末状にしたものを粉末状の化粧料基材に20～99部混合したことを特徴とする。

【0005】 無機質のカプセルへの内包量、又は無機質徐放性物質への担持量は例えば地下水（AQUAGRAN）においては重量比で20%～80%、好ましくは40%～60%である。

【0006】 なお、この無機質材料及び無機質徐放性物質は共に多孔質であり、シリカ、アルミナ、炭酸カルシウム、硅酸カルシウム、炭酸マグネシウム等が代表例である。又、無機質材料及び無機質徐放性物質の大きさは特に限定されたものではないが、通常0.1 μ m～500 μ mの間のものが望ましい。

【0007】

【作用】 水類、アルコール類、エステル類、アミノ酸類、オイル類及び保湿性材料等の1種又は複数種を大量に化粧料基材と混合するため、好ましくは構成する原料比は40%～60%であるが、水類、アルコール類、エステル類、アミノ酸類、オイル類及び保湿性材料等を無機質のカプセルに内包させるか、無機質徐放性物質に担持させると、化粧料基材例えばセリサイト、マスコバイト等とうまく混合が出来る。こうして出来た化粧料は一定量を包装容器に安定的かつ平均的に充填することが容易である。

【0008】

【実施例1】 以下に実施例を示す。シリカ（粒径2～2.5 μ m、吸油量160ml/100gr）45部、地下水（AQUAGRAN）50部とヒアルロン酸ナトリウム5部を混合吸蔵して100部の地下水（AQUAGRAN）内包のカプセルを得る。このカプセルを化粧料基材を構成する他の原料と下記の通り配合してパウダーファンデーションを得た。

吸着担持して100部の地下水（AQUAGRAN）担持の徐放性粉体を得る。この粉体を化粧料基材を構成する他の原料と下記の通り配合してパウダーファンデーションを得た。

3			4
	NO. 4	NO. 5	NO. 6
AQUAGRAN担持徐放性粉体	50部	70部	90部
セリサイト	40部	20部	—
着色顔料ペースト	9.5部	9.5部	9.5部
香料	0.5部	0.5部	0.5部
合 計	100部	100部	100部

【0010】

* N内包の無機物カプセル入りの粉末についてはNO. 3

【実験例】上記実施例1及び実施例2のパウダーファン
 ーションを額、首筋、胸、脇、背中 of 皮膚面に塗布し 10
 た後、その保湿効果と保持効果を男女各10名につき確
 認したところ表1の回答を得た。結果はAQUAGRA*

が良い結果が得られ、又AQUAGRAN担持の無機物
 徐放性粉体についてはNO. 6が良い結果が得られた。

【0011】

【表1】

	ブランド	NO.1	NO.2	NO.3	NO.4	NO.5	NO.6
保湿効果	① ② ③	① ② ③	① ② ③	① ② ③	① ② ③	① ② ③	① ② ③
男	10	4 6	3 5 2	4 5 1	3 7	3 5 2	4 8
女	10	2 5 3	4 2 4	6 4	2 5 3	3 3 4	5 5
保持効果	① ② ③	① ② ③	① ② ③	① ② ③	① ② ③	① ② ③	① ② ③
男	10	2 4 4	2 5 3	5 3 2	1 5 4	2 4 4	5 3 2
女	10	4 6	1 5 4	4 8	5 5	3 3 4	4 8

①は大変良い ②はまあ良い ③は普通

注:ブランドはAQUAGRANの含まないもの

【0012】

【発明の効果】水類、アルコール類、エステル類、アミ
 ノ酸類、オイル類及び保湿性材料等には人体の皮膚に潤
 い、しっとり感を与え、熱さを押さえ、汗をとり、皮膚
 の発熱を減少させると同時に美容と健康を目的としてい
 た。水類、アルコール類、エステル類、アミノ酸類、オ

30

イル類及び保湿性材料等を粉末状にすることにより、化
 粧料基材に影響を与えず混合出来、保存状態を安定化す
 る。粉末状の水類、アルコール類、エステル類、アミノ
 酸類、オイル類及び保湿性材料等は塗布量の増減を調節
 出来、前記の効用を長時間保持することが出来る。